

# 欠陥だらけの鍼灸師養成プログラム

## その1

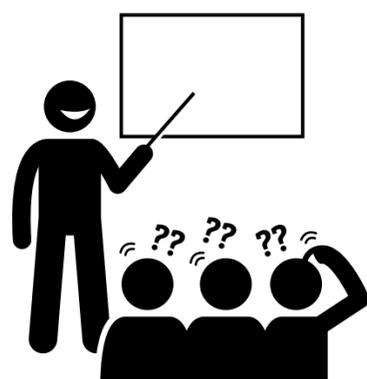
問題：学校の学習プログラム

# 目次

## 欠陥だらけの鍼灸師養成プログラム その1

### 問題：学校の学習プログラム

- 現代の鍼灸教育と臨床技術の現状
- 鍼灸を学ぶ目的とは？
- 現実的な解決策は？

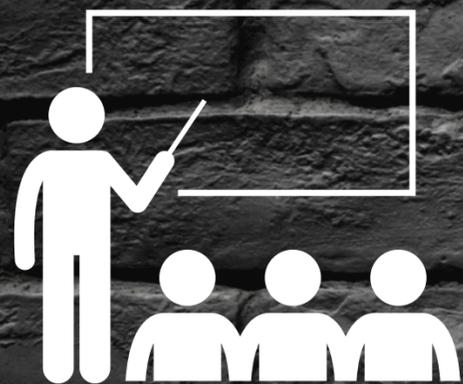


## 欠陥だらけの鍼灸師養成プログラム その2

### 問題：学術集団の学習プログラム

- 鍼灸学術集団の学習環境とその課題
- 学術集団の学習環境が初心者に向かない理由
- 学術集団に残る問題点
- 実技の公開における問題
- 学習のスタート地点が上級者向けになっている
- 最大の課題：診断技術が個人の感覚に依存する
- まとめ





# 現代の鍼灸教育と臨床技術の現状

学校教育の目的は、あくまで **国家試験の合格** にあります。

そのため、カリキュラムの中心は **合格率を上げるための対策** に置かれています。

学校の合格実績は、新年度の生徒募集に大きく影響するため、  
これは学校経営上、避けられない現実です。



**その結果、国家試験対策や科学的根拠（EBM）に基づく教育が優先され、東洋医学の深い理解を持たない教員が教育・指導にあたるケースが増えました。**

**さらに、多くの教員や指導員は**

**東洋医学的な治療を行う臨床経験がほとんどないのが実情です。**

**なぜなら、教員や指導者の多くは「安定した収入」を求めた結果、その道を選んだからです。**

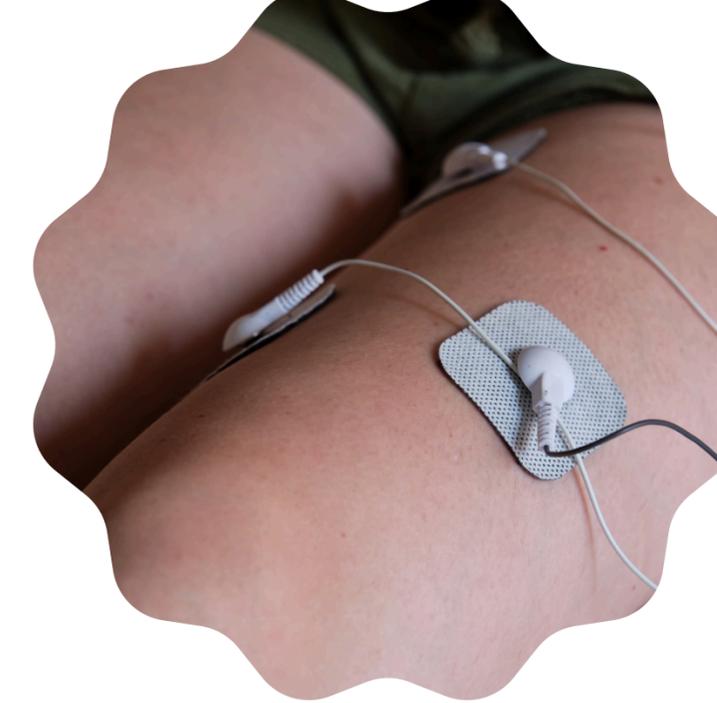
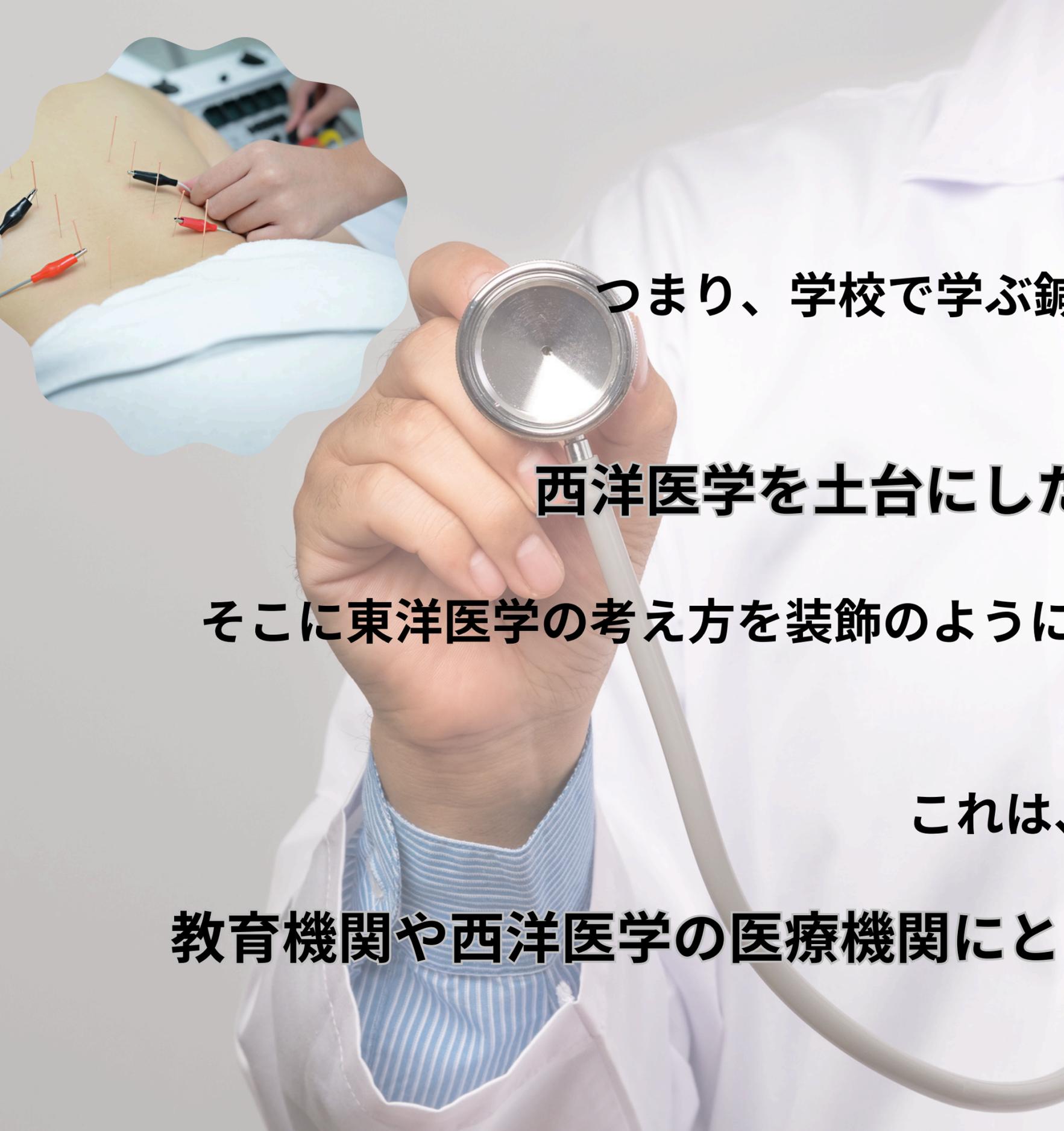
**一昔前は、臨床家の先生が本業の合間に指導を行い、実践的な内容を教えていました。**

**しかし、今ではそのような機会は減り、**

ほぼ運ゲー

**運が良ければ東洋医学的治療に精通した実力者に出会え**

**るかもしれないが、その確率は非常に低いのが現実です。**



つまり、学校で学ぶ鍼灸技術の大半は、

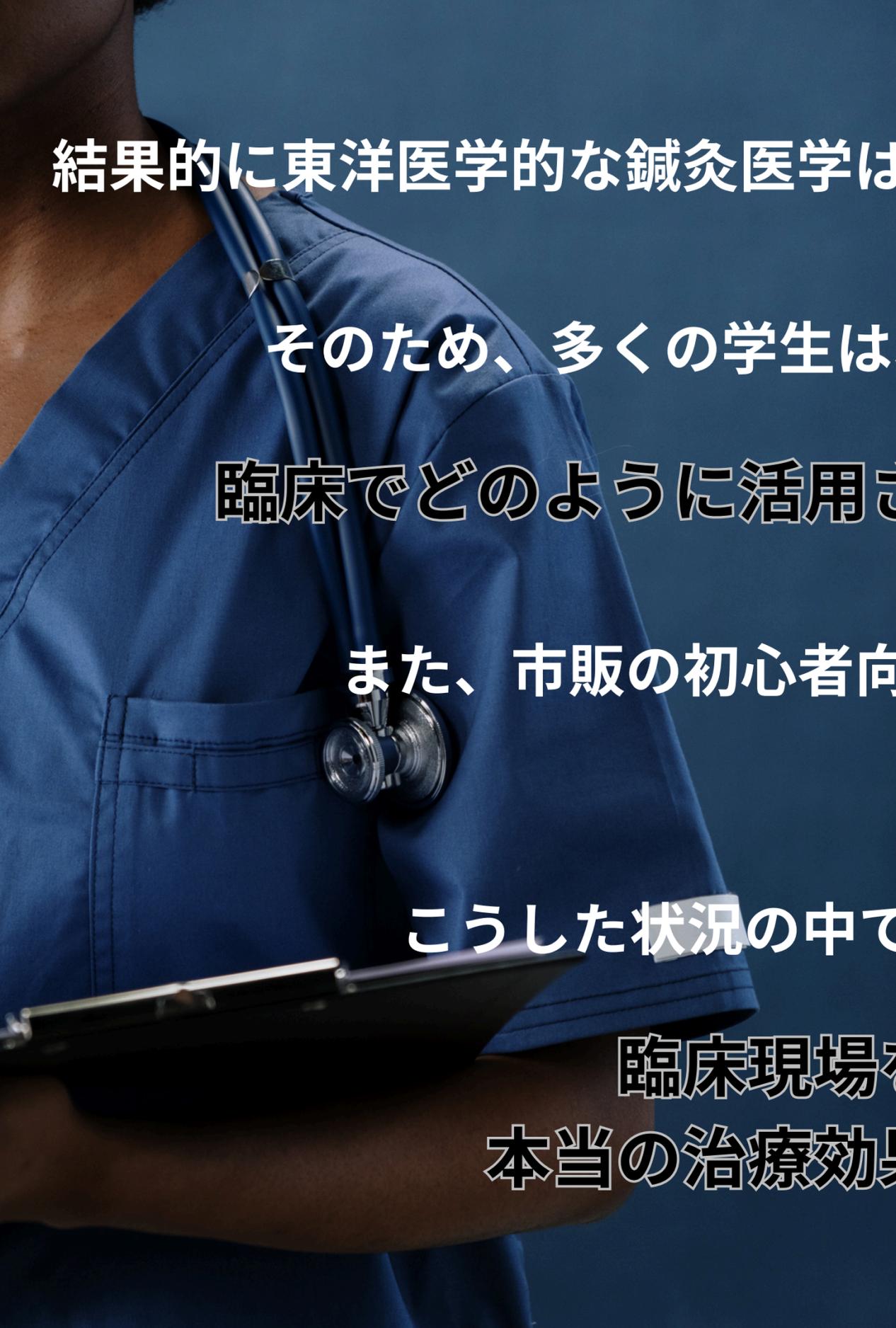
西洋医学を土台にした刺激治療が中心で、

そこに東洋医学の考え方を装飾のように付け加えた内容になっています。

これは、

木に竹を接ぐような  
まねをしている

教育機関や西洋医学の医療機関にとって都合の良いカリキュラムであり、



結果的に東洋医学的な鍼灸医学は**広く浅くしか学べない**状況になっています。

そのため、多くの学生は、**陰陽や五行といった基本理論が臨床でどのように活用されるのかさえ理解していない**のです。

また、市販の初心者向けの書籍でも、**肝心の入門レベルの具体的な運用方法がほとんど載っていません**。

こうした状況の中であっても、多くの鍼灸師は

**臨床現場を見ることなく卒業し、  
本当の治療効果を知らないまま免許を取得**します。



しかし、免許を持っているからといって  
治療ができるわけではありません。



現実には、

「鍼を刺す・灸をすえる」といった最低限の技術

を学んだだけの状態で、臨床の世界へ放り出されるのです。

ド基礎



## 鍼灸を学ぶ目的とは？

そもそも、なぜ鍼灸の道を選んだのでしょうか？

- 手に職をつけるため？
- 収入を増やすため？
- 資格が欲しかっただけ？
- ジョブチェンジのため？

理由は人それぞれですが、

少なくとも西洋医学では救えない患者を助けられるかもしれない、

あるいはその治療法を身につけたいという思いがあったのではないのでしょうか？

しかし、いざ学校に入ってみると、

**教育の中心は西洋医学に依存したもの** になっています。

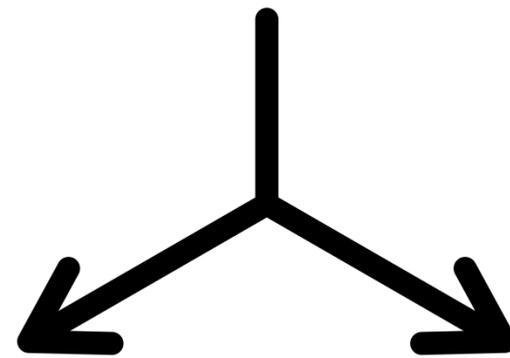
そのため、在学中も卒業後も、

**自己責任で実践経験を積まなければ、治せる鍼灸技術は身につきません。**



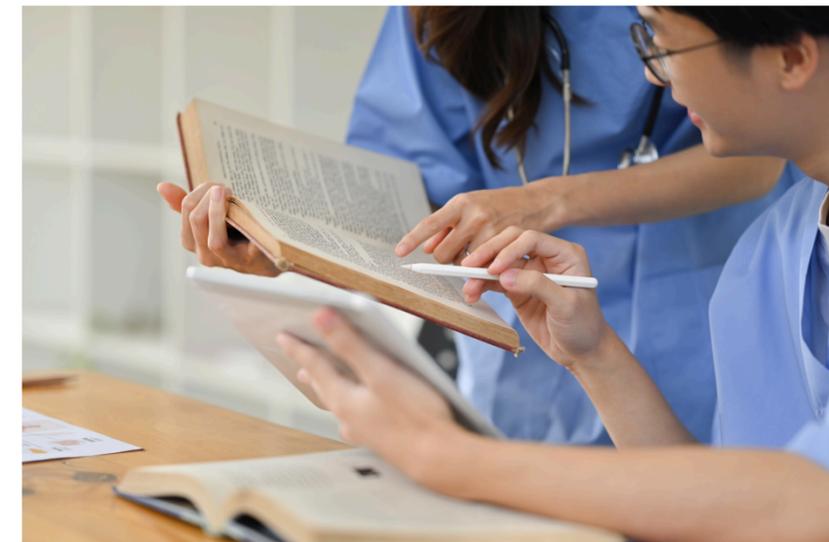
**勉強会・セミナー・研究会  
に参加**

中には、卒業後に  
危機感を抱き、



したり、

人もいます。



**伝統技術を継承する  
師匠を探したりする**

また、「治療成績＝収入」という現実を踏まえ、  
最適な環境として弟子入り修行を選ぶ人もいるでしょう。

しかし、現代では

良き師のもとで下積み修業をする機会が  
ほとんどなくなってしまいました。

仮に弟子入りできたとしても、

収入は少なく、

技術を自ら盗む努力が求められる厳しい環境のため、

修業を敬遠する人が多いのが実情です。



厳しいため修行を嫌がる人が多い



## 現実的な解決策は？

現状、臨床技術を自主的に学ぶ場は、

勉強会・セミナー・研究会

に限られています。

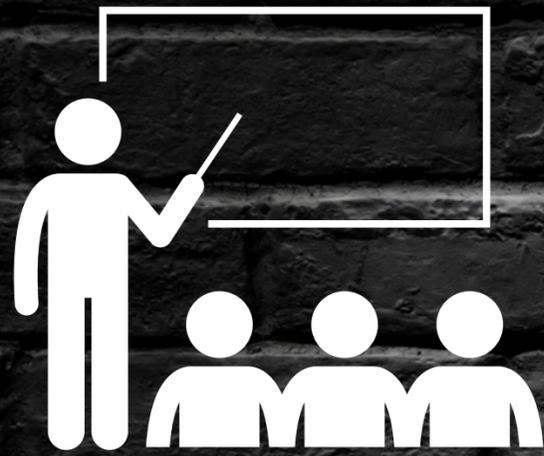


しかし、そこにも

多くの問題が待ち受けているのが現実です……。

# 欠陥だらけの鍼灸師養成プログラム その2

問題：学術集団の学習プログラム



# 鍼灸学術集団の学習環境とその課題



一般的に、鍼灸の学術集団は

**臨床での成果向上**や**技術の普及**を目的としています。

しかし、そこで提供される学習プログラムは、

一見すると体系的でしっかりしたものに見えるかもしれませんが、

**臨床学習の基礎ができていない状態で参加しても、**

**得られるものはほとんどない**という問題があります。



# 学術集団の学習環境が初心者に向かない理由



多くの勉強会やセミナー、研究会に参加してみると、次のような壁に直面します。

## 1. 学校レベルの知識ではついていけない



臨床経験が浅い状態で参加すると、内容が高度すぎて理解が追いつかないことが多いです。また、学術集団ごとに治療体系や考え方が異なり、それに適応するのも難しくなります。



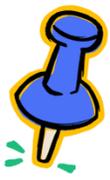
## 2. 学習内容が学校で学んだものと大きく異なる

多くの学術集団では、学校教育とは別の理論や治療法を採用しており、初学者にはハードルが高いです。そのため、努力して学び続けても、成長を実感できず、次第に学習が苦痛になってしまうことがあります。



## 3. 学ぶこと自体が目的化してしまう

いつの間にか「学習すること」が目的となり、実際の臨床で活かせる技術を習得できないまま時間だけが過ぎてしまうケースも少なくありません。



# 学術集団に残る問題点



さらに、一部の学術集団では次のような課題も見られます。

- **古い教育スタイルが残っている**

例えば、講義内容が過去の指導者のコピーに過ぎず、講師自身が深く理解せずに  
教えているケースがあります。

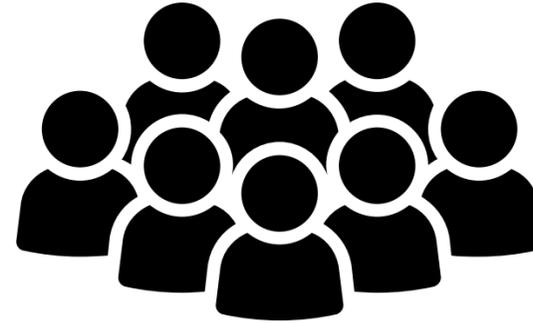
指導がただの板書やテキストの棒読みになってしまい、実践的な技術の伝達が不十分になっています。



- **指導者の技術レベルが不安定**

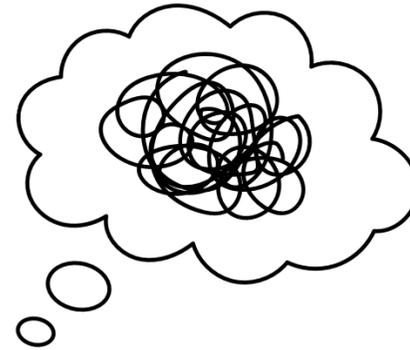
技術指導を担当するリーダー講師のレベルがまちまちで、治療の説明に説得力がなかったり、  
曖昧な理屈で強引に押し切られたりすることもあります。





- **実技研修の機会が限られている**

大規模な組織ほど受講生の数が多く、実技の見学や指導の機会が十分に確保できないことがあります。また、年間のカリキュラムが固定されているため、個人のペースで学習しにくいという問題もあります。



- **学術の進化が停滞している**

ごく一部の優れた治療家を除き、多くの組織や団体では学術や技術の内容が停滞しており、最新の知見や進化が取り入れられていません。





## 実技の公開における問題

研修会の重要な役割の一つに「臨床技術を公開する場」というものがあります。



しかし、実技の公開では次のような問題が発生することがあります。

- **有名な鍼灸師であっても、診断や治療に偏りがある**

診断が毎回ほぼ同じパターンだったり、聞いたことのない理論が突然出てきたり、どんな症例でも同じツボを使うなど、個人の経験や直感に頼りすぎているケースが見られます。

- **説明が抽象的で伝わらない**

大御所の先生の説明が感覚的すぎて、受講者に理解できないことがあります。最悪の場合、診断ミスによる誤治が発生していることさえあります。

- **カリスマ性だけで実力が判断されてしまう**

有名だからといって、必ずしも治療技術が優れているとは限りません。受講者自身に技術の良し悪しを判断する力がないと、雰囲気や周囲の信者的な取り巻きに流されてしまうこともあります。





## 盲目的な信仰に注意



何となく雰囲気流されてしまったり、  
講師の言うことを疑いもせずに入力してしまったりすると、

時間とお金を無駄にしてしまう可能性があります。

お金は稼げば取り戻せますが、時間は決して戻りません。

気づいたときには、何ヶ月、何年と貴重な時間を  
費やしていた…

という事態にもなりかねません。



# 学習のスタート地点が上級者向けになっている

多くの学術集団の教育方針には、初心者向けの基礎を固める前に



上級者向けの技術を学ばせる



という傾向があります。



例えば、

- 本治法（経絡治療系）
- 弁証→論治（中医学系）



といった高度な治療の流れをいきなり学ばせようとしています。

しかし、これらは前提となる知識が多く、

基礎ができていないと習得する前に挫折してしまう

のが現実です。



# 最大の課題：診断技術が個人の感覚に依存する

最も大きな問題は、

臨床実践の主軸となる診断方法が個人の感覚に依存しすぎていることです。

伝統的な鍼灸を学ぶ際には、脈診・腹診・舌診

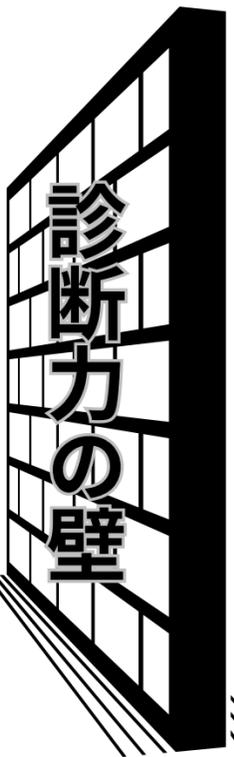
といった主観的な診断方法が避けられません。

知識面は努力次第で補えますが、

診断の精度は

個人のセンスや才能に大きく左右されるため、

初心者にとっては大きな壁となります。



また、多くの学術集団では、こうした診断技術をシステムティックに学べる環境が整っていないため、独学で身につけるのは非常に難しいのが現状です。



そのため、

闇雲に学び始めると挫折してしまう可能性が高いのです。



## まとめ

- 初心者が学ぶにはハードルが高い
- 教育内容が古く、指導者のレベルにバラつきがある
- 診断技術が個人の感覚に依存している
- 盲目的に学ぶと時間とお金を浪費する

これらの問題を理解し、自分に合った学習方法を選ぶことが、効果的な鍼灸の習得には欠かせません。

安易に学術集団に飛び込むのではなく、  
基礎をしっかりと固め、自分に合った学習環境を見極めることが大切です。

# よくある学術集団の学習ルート

上級者（プロ）とほぼ同じ土俵に上がって  
あらゆる東洋医学の要素を集約させた治療  
を学ばなければならない。

その時、あなたにとって障害（課題）となる  
大きな壁が3つあります。

一つ目の壁は、知識・理論の壁

二つ目の壁は、診断力の壁

三つ目の壁は、経験の壁

→ 学習ルートのイメージは  
断崖絶壁を登るようなもの

上級者

経験の壁（病理などのパターンの判断）

診断力の壁（脈・腹・舌など）

知識の壁（理論・哲学）



さて、ここまでお伝えした流れから  
「いったいどうすればいいのか？」  
と思われるでしょう!?

- ☑ 先に挙げた問題に関して改善に取り組んでいる  
治療家の先生を探し当てて学ばせてもらうという方法
- ☑ 覚悟を決めて下積みの修行をさせてもらうという方法
- ☑ 手当たり次第にいろんな勉強会に参加して  
自分と相性の良い学習環境を探し出す方法
- ☑ 自力であらゆる学習教材を読み漁って実践で使えるような  
部分をピックアップして実践する方法

などが一般的な解決策として挙げられます。

ですが....

非常に効率が悪いですね。



ここまで付き合ってくれた  
向上心の高いあなたなら  
きっと、もっと効率よく  
より確実に成長できる方法があれば  
その方法で学んでみたいと思っていますよね!?



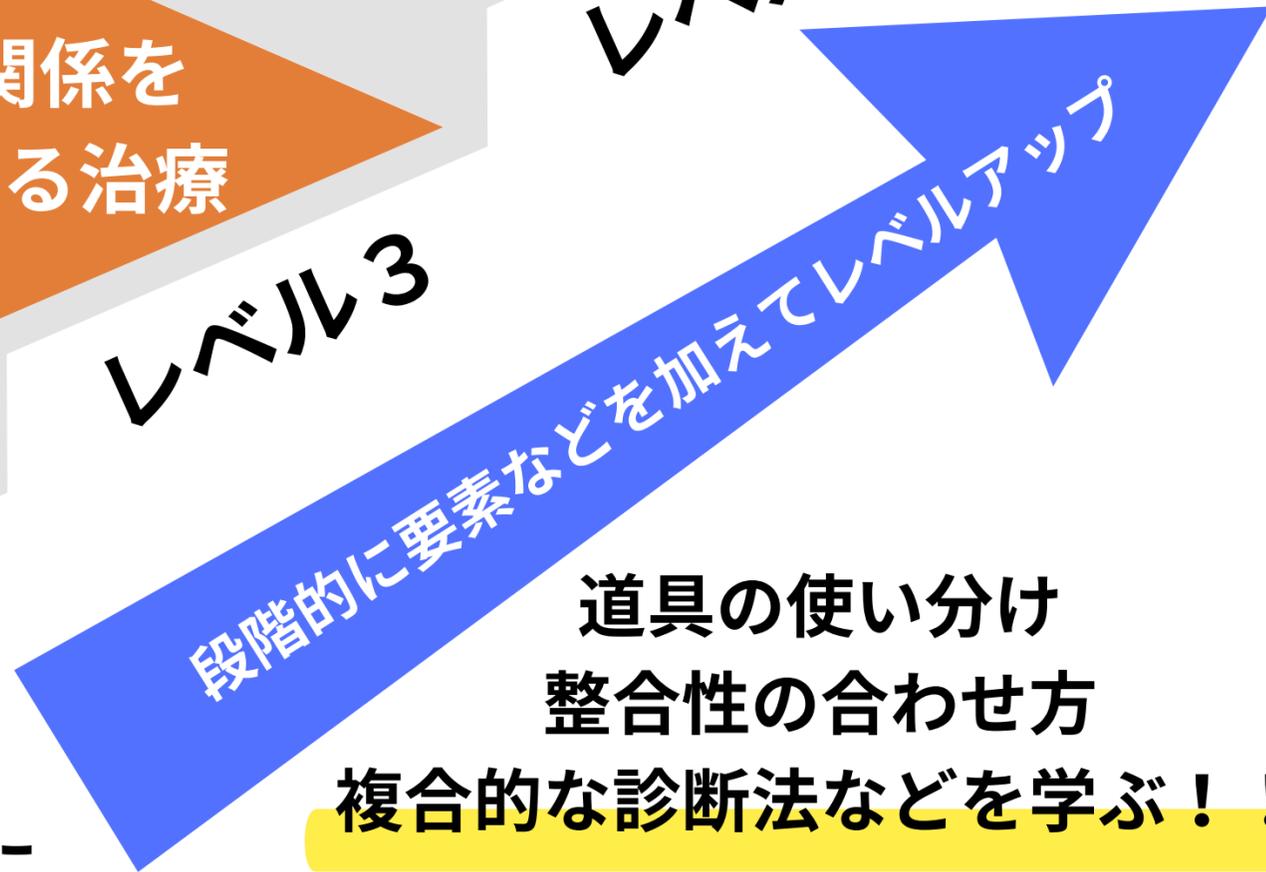
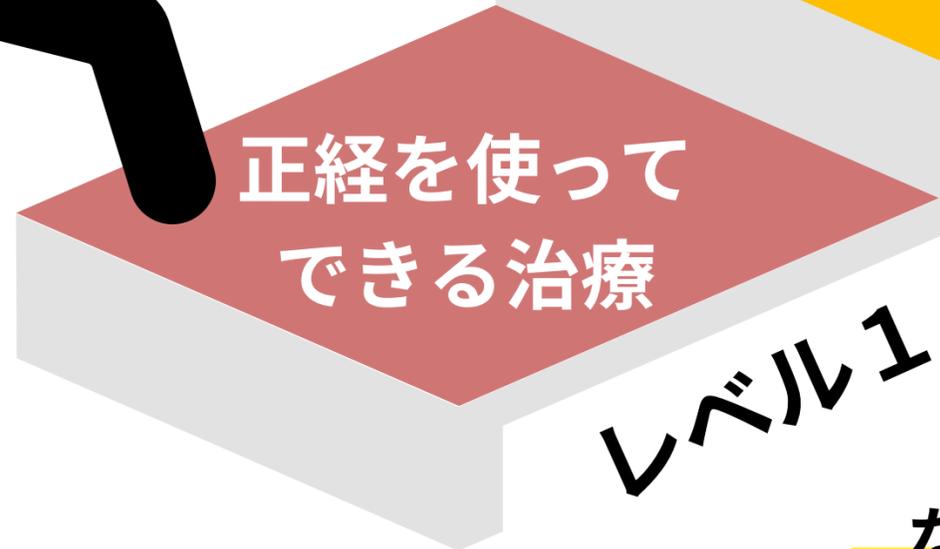
鍼灸技術創造会ASCAでは  
学校レベルの初心者から  
中級レベル以上の実力アップまで

- ・シンプル
- ・ノーリスク
- ・即効性
- ・再現性
- ・発展性

をモットーに

あなたの実力が段階的にレベルアップできるように  
あなた個人のための学習コンテンツを作成しています。

鍼灸技術創造会ASCA  
オリジナル  
初心者用の  
学習ルートイメージ図



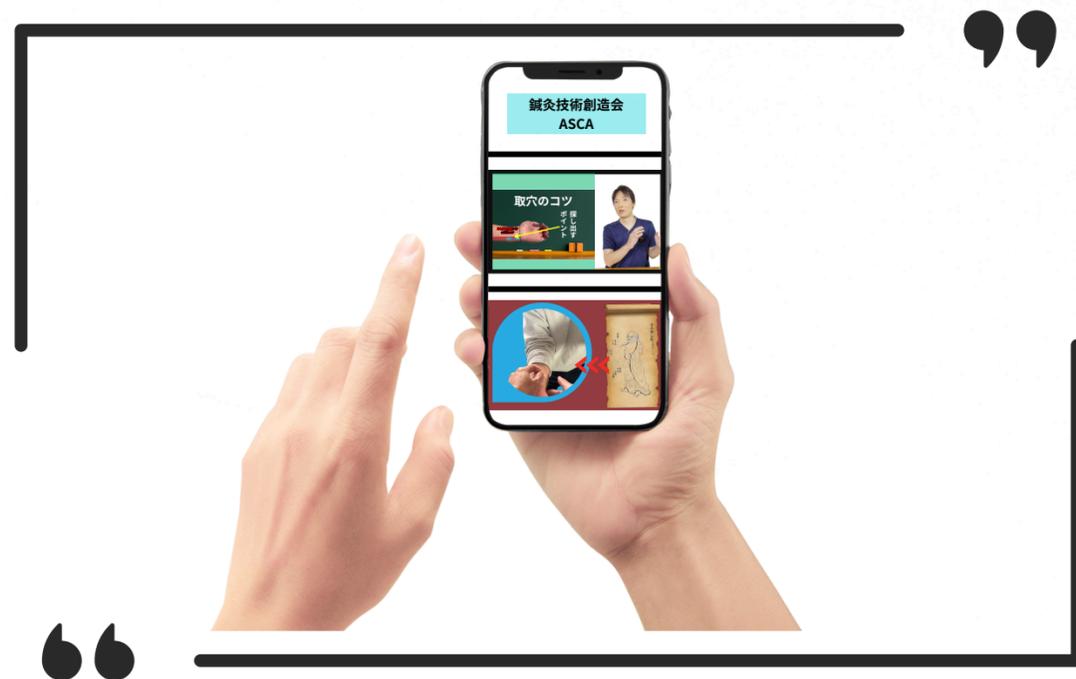
段階的に  
陰陽論、五行論、  
気血津液論、臓腑論  
などの要素を加えていく！！

道具の使い分け  
整合性の合わせ方  
複合的な診断法などを学ぶ！！

# 今いる場所が 学び場になる！



鍼灸技術創造会ASCAでは  
いつでもどこでもあなたが今いるその場所で  
技術を学べるハンディーサイズの  
学習コンテンツを配信しています。



※効果を保証するものではありません。



# 鍼灸技術創造会ASCA

鍼灸技術創造会ASCAでは伝統鍼灸に基づいた確かな結果をもたらしてくれる技術、治療法を発信しています。

- ✓ 誰が行っても結果の出る**再現性**
- ✓ 患者様がすぐに効果を実感できる**即効性**
- ✓ 発展させられ、応用できる**汎用的な治療法**
- ✓ 極力患者様にリスクを負わせない**ノーリスクな治療**
- ✓ 小難しい理論を排除し、体系化された**シンプル**な理論

これらを達成し、誰もが患者様の苦痛を即座に解消でき、信頼を勝ち取ることのできる技術・治療法を、動画を通して発信し、あなたが日本全国、いや世界のどこにいても学べるようわかりやすいコンテンツを発信していきます。

もしあなたが患者様のために最善の治療ができる鍼灸治療家になりたいのであれば、ぜひASCAにご参加ください。

本書の複製権・翻訳権・翻案権・上映権・譲渡権・貸与権  
公衆送信権（送信可能化権を含む）・口述権  
は鍼灸技術創造会ASCAが保有します。

本書を無断で複製する行為（コピー、スキャン、デジタルデータ化など）は「私的使用のための複製」などの著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。また私的使用に該当する場合であっても、請負業者等の第三者に依頼し上記の行為を行うことは違法となります。

copyright©：鍼灸技術創造会ASCA

鍼灸技術創造会ASCA  
代表：MASAHIRO



偉大な先人達の残した貴重な理論・治療技術の軌跡をたどり、現代用にアップデートし直す。

それは、鍼灸技術創造会ASCAの理念である**シンプル・ノーリスク・即効性・再現性・汎用性**に基づくものでなければならぬと思っています。

しかし、独りよがりな治療家ではいくら技が優れていようとも一代限りで直ぐに継承は途絶えてしまいます。

共有できる仲間、同志とともにより良い学と術をつくり上げ、医療の中心である患者様の期待に応えられる確かな技術をもった治療家を目指しましょう!!

URL: <https://asca-harikyuu.com>

